

指定管理者モニタリング評価シート

評価対象年度： 令和 4 年度

施設所管課： 鎮西市民センター産業・教育 課

1 施設の概要

施設名	唐津市名護屋城茶苑「海月」	所在地	唐津市鎮西町名護屋3458番地
設置目的	特別史跡名護屋城跡の歴史的資源の活用と文化活動の醸成による地域活性化を図る		
休館日	毎週水曜日	開館時間	午前9時から午後5時まで（茶屋・茶室利用の場合には午後9時まで対応）

2 施設の利用状況

説明	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	利用状況の傾向と増減の要因
利用者数	4,691 人	3,161 人	3,261 人	5,249 人	新型コロナの収束により観光客数が回復傾向にあり、名護屋城博物館の黄金の茶室との相乗効果もあり増となった。

3 指定管理者の概要

指定管理者	名称	肥前名護屋城倶楽部			
	所在地	唐津市鎮西町名護屋3458番地			
	代表者	会長 古館 博			
指定期間	平成31年4月1日～令和6年3月31日				
指定管理者の業務内容	(1) 茶苑の利用の許可に関する業務 (2) 茶苑の施設及び設備の維持管理に関する業務 など				
事業の実施状況	(1) 条例等に基づき入苑の手続きを行うほか、割引券やイベントチラシなどを周辺の公共施設等に配布し、利用者の増加を図った。また、施設の占用利用にも対応した。 (2) 利用者に快適な環境の提供を図るため、施設の適正な維持管理に努めるとともに一部業務の委託を実施し、施設の維持管理に努めた。 ・施設内及び公衆トイレ清掃（随時）・浄化槽保守管理業務委託・警備業務委託				
職員の配置状況	常勤 正規職員、フルタイム等	非常勤 嘱託・臨時職員、パート等	常勤の内訳		
	3 人	4 人	管理者 1人 従事員 2人		

4 指定業務の収支状況 ※仕様書や協定書に記載された業務

単位：円

	令和4年度 決算額	令和3年度 決算額	増減額
収入	11,334,231	10,920,750	413,481
指定管理料	10,460,000	10,460,000	
利用料金収入 ※利用料金制の場合のみ	600,180	378,830	221,350
その他収入	274,051	81,920	192,131
支出	12,324,215	11,278,243	1,045,972
人件費	7,027,518	6,516,795	510,723
施設管理費	2,994,805	2,806,928	187,877
光熱水費	1,247,142	955,356	291,786
修繕費	196,020	313,350	-117,330
広告宣伝費	0	0	
委託料（再委託）	1,331,311	1,328,402	2,909
保険料	55,332	44,820	10,512
事務費	165,000	165,000	
施設使用料	0	0	
その他支出	2,301,892	1,954,520	347,372
収支	-989,984	-357,493	-632,491
前年度の損失補填額を除いた 実際の収支	-1,157,232		
利益配分額	-	-	

5 自主事業の収支状況 ※行政サービス向上のため、自主的に行う事業

単位：円

	令和4年度 決算額	令和3年度 決算額	増減額
収入	2,282,573	1,027,148	1,255,425
呈茶売上	1,498,600	893,030	605,570
イベント参加料	320,000	0	320,000
商品販売収入	335,033	134,118	200,915
出張呈茶料	128,940	0	128,940
支出	1,491,945	836,903	655,042
商品仕入	1,120,441	620,703	499,738
広告宣伝費	143,504	85,200	58,304
謝金	228,000	131,000	97,000
収支	790,628	190,245	600,383

6 項目別評価

評価項目		評価の根拠 (確認資料等)	自己評価	市の評価
1 業務の履行状況				
(1) 運營業務（全般）				
①運営管理	条例、協定書等に従い、開館日、開館時間等を遵守しているか。		適	適
	使用料または利用料金の徴収、減免手続き等を適切に行っているか。		適	適
	施設の利用者数、稼働率を適切に管理しているか。		適	適
②人員体制	施設の管理運営に必要な資格、経験等を有する人員が過不足なく配置されているか。		適	適
	従業員の労働条件は適正であるか。		適	適
	従業員の資質向上のための指導、研修等を適切に実施しているか。		A	B
③管理記録	業務日誌等を適切に記録し、保管しているか。		適	適
④連絡調整	協定書等に定めた各種報告書を、期限内に市に提出しているか。		適	適
	市や関係団体等との連絡調整を適切に行っているか。		適	適
⑤危機管理	基本協定に定めるリスク分担に従い、適切な対応を行っているか。		適	適
	緊急時に直ちに措置を講じ、市に報告を行ったか。		適	適
	緊急時の連絡体制、マニュアルを整備し、定期的に研修、訓練等を行っているか。		A	B
⑥個人情報保護	個人情報保護に関する法令等を遵守しているか。		適	適
	施設利用者等の個人情報の漏洩、滅失等の事故防止策を講じているか。		適	適
(2) 維持管理業務				
①維持管理	省エネルギー、省資源など環境への配慮がなされているか。		適	適
	施設や設備、備品等の保守管理（点検や修繕等）を適切に行っているか。		A	B
	清掃、警備、衛生管理その他施設管理に必要な業務を適切に行っているか。		A	B
②再委託	再委託にあたり、事前に契約方法及び契約事項を市に報告しているか。		適	適
	再委託先からの業務報告を受けるなど、履行状況を適切に管理しているか。		適	適

2 サービスの質				
(1) 運營業務（利用者対応、情報発信等）				
①利用者対応	施設利用者に対して、設備、備品等を適切に提供しているか。		適	適
	施設の利用許可、案内等を迅速かつ適切に対応しているか。		適	適
	施設利用者への言葉使い、態度、服装等、接遇が適切であるか。		適	適
②苦情等対応	要望、苦情等を整理し、遅滞なく市に報告しているか。		適	適
	要望、苦情等に対して迅速かつ適切に対応しているか。		A	B
③利用者アンケート	適切な利用者アンケート調査を実施し、その結果が良好であるか。		B	B
	利用者アンケートの結果に基づき、適切な改善策を講じているか。		B	B
④施設の利用状況	施設の利用者数、稼働率等に関する目標を達成しているか。		A	B
⑤情報発信	利用者の利便性向上のため、ホームページ等の更新、管理を適切に行っているか。		適	適
	各種媒体を利用し、事業、イベントの開催案内等の広報を適切に行っているか。		A	B
(2) 事業実施状況				
①事業実施状況	事業計画に定めた事業を適切に実施しているか。		適	適
	施設の設置目的に沿った自主事業を実施し、市民サービスの向上が図られたか。		A	B
(3) 地域貢献				
①地域貢献	地元雇用を積極的に行っているか。		適	適
	地域の意向に沿った運営や、地域活動への参加・協力を行っているか。		A	B
	地元事業者からの物品調達など、地元を活用した運営がなされているか。		A	B
3 継続性・安定性				
(1) 運營業務（経理事務、予算執行等）				
①経理事務	専用口座、帳簿等を備え、指定管理業務に係る経理区分が明確に整理されているか。		適	適
②予算執行	収支予算書の範囲内で適正に予算を執行しているか。		適	適
③取引状況	取引先等の関係業者との関係は良好であるか。		適	適
(2) 収支状況				
①経費縮減	施設の管理運営に係る経費が縮減されているか。（経費削減に努めているか。）		A	B
②収入増加	収入増加のための取り組みがなされているか。		A	B
③収支状況	収支予算書と比較して、収支状況は妥当であるか。（目標を達成しているか。）		A	B

※ 上記の評価項目、評価の視点は標準的なものであり、施設の特性に応じて調整（追加、削除）を行うこととする。

7 総括評価及び総合評価

総括評価	1 業務の履行状況	B	指定管理者の管理運営に対する評価・コメント 令和4年度は、新型コロナウイルス感染症が収束に向かう中で、観光客数が回復傾向にあり、また名護屋城博物館の黄金の茶室開設の効果もあったと考えられるが、事業者としても施設の特色を生かした様々なイベント等を開催され、近年、減少傾向にあった来苑者数の大幅な回復に寄与されたことは評価できる。 今後も、施設の価値を高め、更なる来苑者数並びに収入増につながるような、創意工夫を凝らした運営を行っていただきたい。
	2 サービスの質	B	
	3 継続性・安定性	B	
総合評価		B	